

マイブック推進事業のアンケート結果について

1 児童及び保護者アンケートから（アンケート回収率95%）

【質問1】マイブッククーポンを使用した月（複数回答可）

6月	7月	8月
24.9%	43.9%	40.2%

※参考 参加書店からの使用済みクーポン回収率（＝使用率）

6月	7月	8月	3か月の使用率
42.2%	24.0%	28.9%	<u>95.1%</u>

※クーポンを使用した月と書店からの使用済みクーポンの回収率に違いがあるのは、一括で使用するのではなく、使用期間の3か月間にまんべんなく使用した児童が多いためと考えられる。

【質問2】マイブッククーポンで購入した本の冊数

1冊	2冊	3冊	4冊	5冊以上
6.8%	55.6%	29.2%	7.6%	0.4%

【質問3】マイブッククーポンを使用しなかった理由

- ア 使用期間を知らなかった・・・3.7%
 - イ 使用することを忘れた・・・60.0%
 - ウ 使用する前に紛失した・・・24.0%
 - エ 配付されたことを知らなかった・・・2.3%
 - オ その他・・・10.0%
- 使い方が面倒だった
ほしい本がなかった

【質問4】マイブック推進事業の継続について

- ア 継続してほしい・・・98.5%
- イ 継続しなくてよい・・・1.5%

1枚もクーポンを使用していない児童数・・・450名(全児童の3.9%)
 ※H26年度964名(7.8%)
 H27年度374名(3.2%)

【質問5】マイブック推進事業についての意見・感想等

①肯定的な意見・感想

- ・本に触れる、親しむ、興味をもつきっかけとなった
- ・経済的に助かった
- ・子どもとのコミュニケーションが広がった
- ・本を選ぶ楽しみがあつてよい
- ・読む本の幅が広がった（読んだことのないジャンルの本に挑戦できる）
- ・「自分の本」を大切に読んでいる

②要望

- ・中学生や高校生にも広げてほしい
- ・買える本の種類を増やしてほしい（辞書や問題集など）
- ・使用期間を延ばしてほしい
- ・クーポンの額を上げてほしい
- ・回数を増やしてほしい

③事業に否定的な意見

- ・他のことに税金を使ったらどうか
- ・市立図書館や学校図書館を充実させてほしい
- ・必要性を感じない

2 学校アンケートから

【質問1】 どのようにして教職員間の共通理解を図ったか（複数回答可）

- ア 職員会議で実施要項を活用・・・・・・・・・・43%
- イ 職員朝会で実施要項を活用・・・・・・・・・・75%
- ウ 特別に時間を設定し、実施要項等を活用・・・・2%
- エ 実施要項等の配付のみ・・・・・・・・・・15%
- その他 校務パソコンを活用して周知

【質問2】 どのようにして児童や保護者に対する周知を図ったか（複数回答可）

- ア 学校だよりや学年（学級）だより・・・・・・・・93.6%
- イ 保護者参観日を活用・・・・・・・・・・63.8%
- ウ 学校のホームページを活用・・・・・・・・・・10.6%
- エ 図書室でマイブック推進事業に関する企画展示・23.4%
- オ その他・・・・・・・・・・27.7%
- 校内放送の活用
- 全校朝会で校長がスライド（パワーポイント）で説明
- 連絡帳の活用
- 図書だよりの活用

【質問3】 どのように児童に配付したか

- ア 受領票を作成し、説明文書等と共に配付し受領印をもらった 43校
- イ 学校公開日等に保護者に説明し直接配付した 2校
- ウ 集金日に前日に集金袋にクーポンと資料を入れて配付 1校
- エ 普段使用している連絡袋を活用 1校

【質問4】 マイブッククーポンで購入した本をどのように活用したか（複数回答可）

- ア 全校一斉読書で活用した・・・・・・・・・・53.2%
- イ 国語の時間に紹介しあった・・・・・・・・・・53.2%
- ウ 人気の高かった本を学校図書館用に購入し、展示した・・・・10.6%
- エ 紹介カードを児童に書かせて掲示した・・・・・・・・68.1%
- オ その他・・・・・・・・・・34.0%
- 学校・学級・図書だよりを通して児童が購入した本を紹介した。
- 購入した本を手にした写真を掲示（ホームページで紹介）した。
- 親子読書や朝のスピーチに活用した。

【質問5】 児童にはどのような様子が見られたか（複数回答可）

- ア 以前より読書について話す児童が増えた・・・・・・・・80.1%
- イ 保護者と書店に行ったことが楽しい思い出になっている・89.4%
- ウ 保護者と書店に行けなかった児童が寂しそうにしている・6.3%
- エ 特に目立った変化はない・・・・・・・・・・2.1%
- オ その他・・・・・・・・・・14.9%

自分の本を携行する児童が増えた。
友達と本を紹介し合ったり交換したりしている。
本を選ぶ喜びを感じている。

3 参加書店アンケートから（参加15書店のうち14書店から回答）

【質問1】 マイブッククーポンの使用期間（6月～8月の3か月間）について

- ア 適切である 14店
- イ 使用期間を長くした方が良い
- ウ 使用期間を短くした方が良い

【質問2】 マイブッククーポンの使用開始時期（6/1）について

- ア 適切である 13店
- イ もっと早い時期の方が良い
- ウ もっと遅い時期の方が良い 1店

【質問3】 マイブック推進事業に参加して良かったこと（複数回答可）

- ・事業開始当時より、お客さんが本選びに慣れてきたように感じる。
- ・普段置くことが難しい本を置くことができた。
- ・子どもが嬉しそうにクーポンを持って本を買いに来た。
- ・親子が悩みながら本を選んでる様子を見る事ができた。
- ・児童書の売り上げが伸びた。
- ・スタッフとの会話が増えた。
- ・子ども連れのお客が増えた。

【質問4】 マイブック推進事業に参加して困ったこと等（複数回答可）

- ・クーポンの使い方が書かれたガイドブックを読んでいない保護者が多い。
- ・クーポンの正しい使い方（おつりが出ないなど）を分かっている保護者がいる。
- ・レジに持ってきた本がクーポンでは買えないことを伝えたら、激怒された。
- ・子どもと一緒に本を選べない保護者が多い。

【質問5】 マイブッククーポンで購入された本の中で、よく売れたもの

- 「かいけつゾロリシリーズ（原ゆたか）」
- 「おしりたんていシリーズ（大野正人）」
- 「ズートピア！（ディズニー）」
- 「サバイバルシリーズ（朝日新聞出版）」

【質問6】 市教育委員会に対する要望等（複数回答可）

- ア マイブッククーポンが使える本の種類をもっとはっきりさせてほしい 5店
- イ クーポンの使い方について、各学校にもっと指導してほしい 8店
- ウ 参考図書が古いので、子どもの実態に合ったものを選んでほしい 3店
- エ その他 保護者への指導を徹底してほしい 1店

【質問7】 参加書店による小学生にお薦めの本

- ・世界で一番貧しい大統領のスピーチ
- ・5分後に意外な結末
- ・地球の不思議
- ・ハリーポッターシリーズ

【質問8】 来年度のこの事業への参加について

- ア 参加したいと考えている 12店
- イ 諸事情により参加できない 0店
- ウ 現在のところ検討中である 2店

4 各アンケート結果を受けての考察

○成果

- ・事業が浸透し、特に県立特別支援学校での使用率が向上した。
- ・保護者からは、子どもが読書に親しむようになったことだけでなく、親子のコミュニケーションが広がったとの意見が多く寄せられた。
- ・各学校の回答からは、進んで読書する児童が増えたという意見が多く寄せられた。
- ・参加書店の回答からは、来店する児童や保護者の様子から事業の浸透を実感する声が寄せられた。

●課題

- ・ガイドブックを作成するなど、事業の浸透に努めたが、様々な児童及び保護者がいることから、徹底は難しい面がある。
- ・書店によって対応が異なる場面もあったことから、事前説明会を通して書店と共通理解を図る必要がある。
- ・(アンケートからではないが)今年度は、書店にクーポンを忘れる(落とす)児童が多かった。書店から伝えられたクーポン番号を手がかりに、該当する学校に連絡をし、児童に返すことができた。

◎課題に対する手立て

- ・事業の趣旨について、ガイドブックの内容を検討し、周知徹底を図る(「保護者とともに」という趣旨、おつりの扱いなど)。
- ・クーポンで購入できる本の種類等については、児童及び保護者・各学校・各書店の声を生かして、より明確に提示する。
- ・広報等を通してアンケート結果を広く市民に周知し、事業の浸透を図る。